

米川よろず通信

『米川よろず会議』とは。

長浜の町の風景は足元を縫うように流れる米川によって特徴づけられています。豊富な地下水、群れをなす小鮎、古いかわど。わたしたちは水辺の憩いや楽しみや、たくさんの工夫と学びの機会に溢れる米川のある風景を、未来に残していきたいと考えています。

米川に関する情報の集約、米川のある長浜の将来イメージの共有、研修会の開催、緩やかな実行など、じっくりと取り組んで参ります。ぜひたくさんの方に興味を持って合流していただけたらと思います。

特集
2

姉川流域すごろく



長浜のまち中を流れる米川を舞台に、子どもたちと身近な自然や歴史・文化に触れる『米川生き物キャンプ』を8月に開催して早1ヶ月半。どんどんでは、滋賀県立大学院生が考案した『姉川すごろく』の試遊会を行いました。

姉川すごろくとは、プレーヤーが「水」になって、姉川流域の一番上流の集落『甲津原』から、GOALの『琵琶湖』まで、姉川をくだっていくすごろくゲーム。今回すごろくに参加してくれたのは、長浜市内の小学校に通う小学6年生。とっても楽しい美味しい面白い素敵イベントになりました。



米川とその流域に関わる大学の授業。それを授業で終わらせらず、地域で実践、そして共有。緩やかな繋がりですが、こんなふうに米川の周辺で起こる楽しいことを集約し、一緒に米川の未来を盛り上げていけたらと思います。

【米川よろず会議】

長浜まちなか地域づくり連合会、滋賀県立大学環境科学部、長浜バイオ大学未来生物研究所、合同会社andstep、NPO法人近江淡水生物研究所、長浜まちづくり株式会社

【事務局連絡先】

長浜まちづくり株式会社
〒526-0059 長浜市元浜町7-5
TEL:0749-65-3935
MAIL:info@nagahama36.com

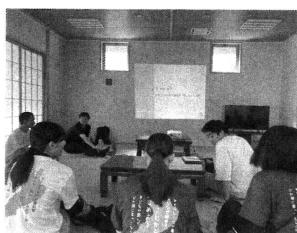
特集
3

都市の目で見る！米川レクチャー

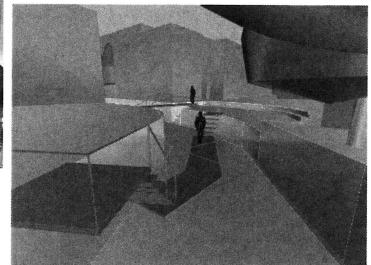
米川に向けられる様々な視点を学ぶ機会づくりを進めています。川の「イトコロ」の見え方は、それぞれの人の持つ目線や知識によって異なります。今回は、都市・建築を専門とする滋賀県立大学の金子先生とその学生さんから見た米川をレクチャーしてもらいました。

レクチャーでは、米川が私たちの生活環境を快適にしてくれることを学びました。水面は光の反射を和らいでくれ、表面温度を下げ、風の通り道になる。また、米川周辺の所々に存在する空き地は、風が吹き込み、風速が大きくなります。

これを知った参加者から、続々と米川の未来を彩るアイデアが生まれてきました。ひとつずつ丁寧に実行しながら、より良い米川の実現を目指します。



△レクチャーの様子



未来の米川のアイデア図△
県立大学生が、親水空間としての『橋』を提案。

LoGoチャット／みなさんの声を聴かせてください。

長浜市ではR3年に『湖の辺のまち長浜未来ビジョン』を策定し、そこに描いた「こうありたい未来の長浜」に相応しい米川での取り組みのほか、未来ビジョンを実現させる前向きな取り組みを応援しています。同時に、今後いっそう幅広いアイディアやエネルギーを集めてビジョンのアップデートを進めていくために、市民のみなさんからのアイディアや情報をぜひひとご提供ください。

+α 大調査!
よねがわ? or よねかわ?
あなたはどっち派ですか?
呼び方を教えてください!
(フォームのQ3にご記入ください。)



長浜市商工振興課 / 0749-65-3935

